

■ 平成22年12月14日（火）議長記者会見概要

場 所： 県政記者室（県庁内）

出席者： 出口武男議長、藤本昭広副議長、上田悟広報委員会座長

〈はじめに〉

議長： 平成22年11月第300回定例会初日に可決した奈良県議会基本条例において、「県民に開かれた議会運営に務める」と規定し、特に県民と議会との関係においては、県民への広報活動の充実に取り組むこととしている。閉会を迎えた本日、議会基本条例の公布・施行にあわせ、広報活動の充実の一環として今回初めての議長記者会見を実施することとし、今後もこういう形で続けていければと考えている。



上田悟広報委員会座長 出口武男議長 藤本昭広副議長

〈案件〉

○奈良県議会基本条例の制定による今後の議会改革の取り組みについて

広報座長： 議会改革推進会議を設置し、改選までの期間に、常任委員会の所管事項と特別委員会の見直しについて検討することとした。

〈質疑応答〉

1. 議会改革推進会議について

記者： 常任委員会、特別委員会の具体的な検討内容は。

議長： 特別委員会はその時々によって設置している。時代にあった委員会を設置していかなければならない。

広報座長： 常任委員会では、知事部局の組織変更に伴い、審査に要する時間が委員会毎にばらつきがでている。特別委員会では、すでに役割を終えた委員会もあるので、委員会の名称や数、審査事件の見直しの検討が必要となっている。

記者： 当面のスケジュールは。

広報座長： スケジュールに沿って第1回を12月22日に開催。まず、常任委員会では知事部局の配置で審査の量にバランスを欠く委員会があり、これをバランスよく割り振りできないか見直し、特別委員会ではすでに役割を終えた委員会もあり、名称や数なども含めて検討する。常任委員会と特別委員会との役割分担の整理も含めて、議会改革推進会議の仕事という位置付けで考えている。

記者： 正副座長は誰になるのか。

広報座長： 議会基本条例検討委員会の委員長・副委員長がそのままスライドで選任すると各派連絡会で協議され、決定されている。議会改革推進会議の座長は上田悟議員（自由民主党）、副座長は岩城明議員（民主党）が務める。

記者： 委員会の見直しを実施する時期は。

広報座長： 常任・特別委員会の見直し案を議会改革推進会議で準備し、改選後の議会で案を提示した後、再度審議し、決定される。

2. 政策立案能力の強化について

記者： 議員提案条例の予定はあるのか。

広報座長： 今のところ具体のものはない。

3. 記者会見について

記者： 次回の記者会見の出席者は。

議長： 正副議長、広報委員会座長。

広報座長： 案件によっては、関係する委員会の委員長の出席もある。

記者： 開会前に記者会見される考えはないのか。

議長： 記者からの希望があれば対応したい。

広報座長： 議会としてもっと広報活動をしていきたい。県民に開かれた議会という言葉を実践して、県民と議会との意見交換をできる場もこれからつくっていかねばならないということで、広報と広聴、いろいろな手段を考えながら、今まで以上にやろうというのがこれからの議会の方向性である。

4. 第300回定例会を振り返って

記者： 第300回の節目の議会を終えられて、議長の心境は。

議長： 第200回議会にも出席したが、第300回の記念の議会で議長を務められ光栄である。